

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

定率法で減価償却を実施している。

#### (2) 引当金の計上基準

##### ・退職給付引当金

事務局職員の退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を期末自己都合要支給額に基づいて計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税込額で表示している。

### 2. 基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	21,000,000	0	0	21,000,000
小 計	21,000,000	0	0	21,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	10,999,660	1,740,000	0	12,739,660
特定預金引当資産	1,000,000	0	1,000,000	0
周年行事引当資産	4,000,000	0	0	4,000,000
野立看板引当資産	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	16,999,660	1,740,000	1,000,000	17,739,660
合 計	37,699,660	1,740,000	1,000,000	38,739,660

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	21,000,000	0	(21,000,000)	0
小 計	21,000,000	0	(21,000,000)	0
特定資産				
退職給付引当資産	12,739,660	0		(12,739,660)
野立看板引当資産	1,000,000	0	(1,000,000)	0
周年行事引当資産	4,000,000	0	(4,000,000)	0
小 計	17,739,660	0	(5,000,000)	(12,739,660)
合 計	38,739,660	0	(26,000,000)	(12,739,660)

4. 引当金の明細

引当金の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期 増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	8,799,660	1,190,000	0	0	9,989,660
役員退職慰労引当金	2,200,000	550,000	0	0	2,750,000

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
構築物			
野立看板(南国)	650,000	649,999	1
電話加入権	74,984	0	74,984
敷金	553,630	0	553,630
合計	1,278,614	649,999	628,615

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期 末残高	貸借対照表上 の記載区分
受取県連補助金	高知県連	0	218,909	218,909	0	一般正味財産
受取全法連補助金	全法連	0	350,000	350,000	0	一般正味財産
受取全法連助成金振替額	全法連	0	18,706,200	18,706,200	0	指定正味財産

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	
受取全法連助成金振替額	18,706,200